

9割の人は 小学生のころ『お正月』が楽しみだった

- 『年末年始』に関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20141203/>

楽天リサーチ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:森 学)は、『年末年始』に関するインターネット調査を実施しました。2014年12月29日から2015年1月3日までの期間の予定を伺い、『年末年始』『大晦日』『お正月』のイメージ、『お正月』の楽しみ程度を把握することを目的としました。今回の調査は、11月10日から12日の間、楽天リサーチに登録しているモニター(約230万人)の中から、全国の20代から60代の男性および女性、計1,000人(2013年10月1日現在の人口推計値に準じた「地域×男女×年齢」別割付)を対象に行いました。

■□ 調査結果からの結果要約 □■

- 来たる『年末年始』に「予定されている行事」上位3位は、「年賀状を送る」「年越し蕎麦を食べる」「大掃除をする」が7割前後の回答率で、他より高い
- 『年末年始』のほとんどの予定について、「京阪神」の回答率は「首都圏」「その他の地域」より高い傾向がみられた
- 『年末年始』と聞くと思い浮かぶ物事は、「年賀状」「お正月料理／お節料理」「初詣」が上位で、年代別で回答率に差が目立つ
- 『お正月』は『大晦日』より、「明」「嬉しい」「フォーマル」の印象が強い
- 『お正月』の「色」は、半数が「赤・白(50%)」の組み合わせを選んだ
- 「小学生のころ」に、『お正月』を楽しみにしていた割合が約9割と非常に高い
- 年代と共に、『お正月』を楽しみにしている程度が低くなっている

■□ 調査結果 □■

■来たる『年末年始』に「予定されている行事」上位3位は、「年賀状を送る」「年越し蕎麦を食べる」「大掃除をする」が7割前後の回答率で、他より高い

『年末年始』(2014年12月29日から2015年1月3日までの期間)の予定を聞いたところ、ほぼ全ての項目において8割以上の予定が11月中旬までの時点で決められているようであった。

「予定されている」ことをみると、「年賀状を送る(72%)」「年越し蕎麦を食べる(68%)」「大掃除をする(67%)」が上位3位を占めている。また、「お節料理を食べる(61%)」「親戚・家族と集まる(51%)」もこれらに続いて回答率が高かった。

逆に、「初日の出を見に行く(77%)」「年始」は仕事をする(75%)」「福袋を購入する(71%)」などは、予定していない回答者が7割を超えている。

◇今回の『年末年始』の予定 (n=1,000、全対象者) 単位:%

	予定している	予定していない	まだわからない
年賀状を送る	72.1	22.7	5.2
年越し蕎麦を食べる	67.5	17.0	15.5
大掃除をする	67.0	18.4	14.6
お節料理を食べる	61.4	26.1	12.5
親戚・家族と集まる	50.5	34.2	15.3
近くの神社に初詣に行く	46.4	34.2	19.4
実家に帰る	36.8	53.3	9.9
同僚・友達と忘年会をする	35.3	43.8	20.9
年賀メールを送る	28.8	55.8	15.4
お節料理を作る	28.5	58.0	13.5
墓参りをする	18.4	66.6	15.0
「年末」は仕事をする	17.8	69.1	13.1
有名な神社に初詣に行く	17.8	62.8	19.4
家族と忘年会をする	17.2	65.2	17.6
「年始」は仕事をする	13.7	74.8	11.5
福袋を購入する	8.1	70.6	21.3
初日の出を見に行く	6.4	77.1	16.5

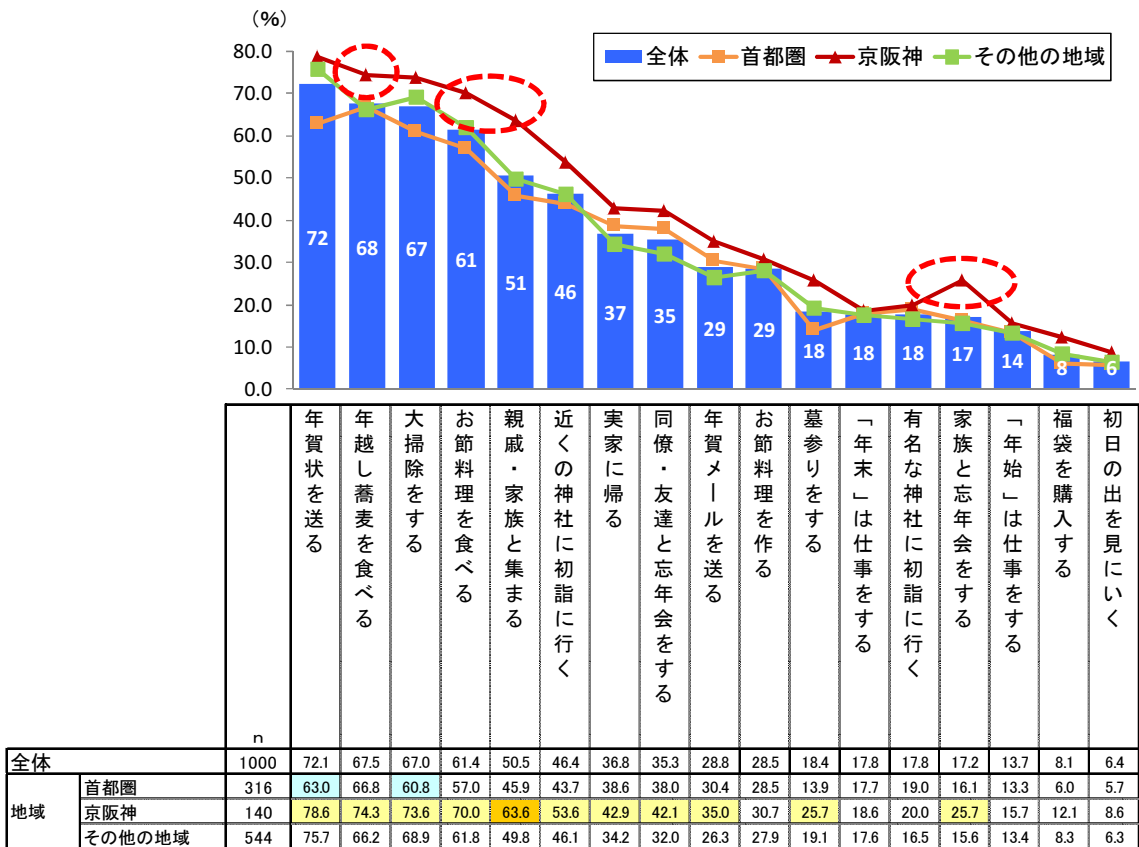
※「予定している」こと降順に並び替え

■『年末年始』のほとんどの予定について、「京阪神」の回答率は「首都圏」「その他の地域」より高い傾向

『年末年始』の予定を地域別でみると、「京阪神」と「首都圏」「その他の地域」に違いが観察された。

「京阪神」では、特に「お節料理を食べる」「親戚・家族と集まる」「家族と忘年会をする」「年越し蕎麦を食べる」の行事について回答率が他の地域より高い傾向である。

◇今回の『年末年始』の予定(地域別) (n=1,000、全対象者) 複数選択 単位:%



※「予定している」こと降順に並び替え

『年末年始』の予定が性別・年代別で差は次の通り。

「男性」は「同僚・友達と忘年会をする」に対して、「女性」は「大掃除をする」「お節料理を食べる」「年賀メールを送る」「お節料理を作る」が高い傾向である。

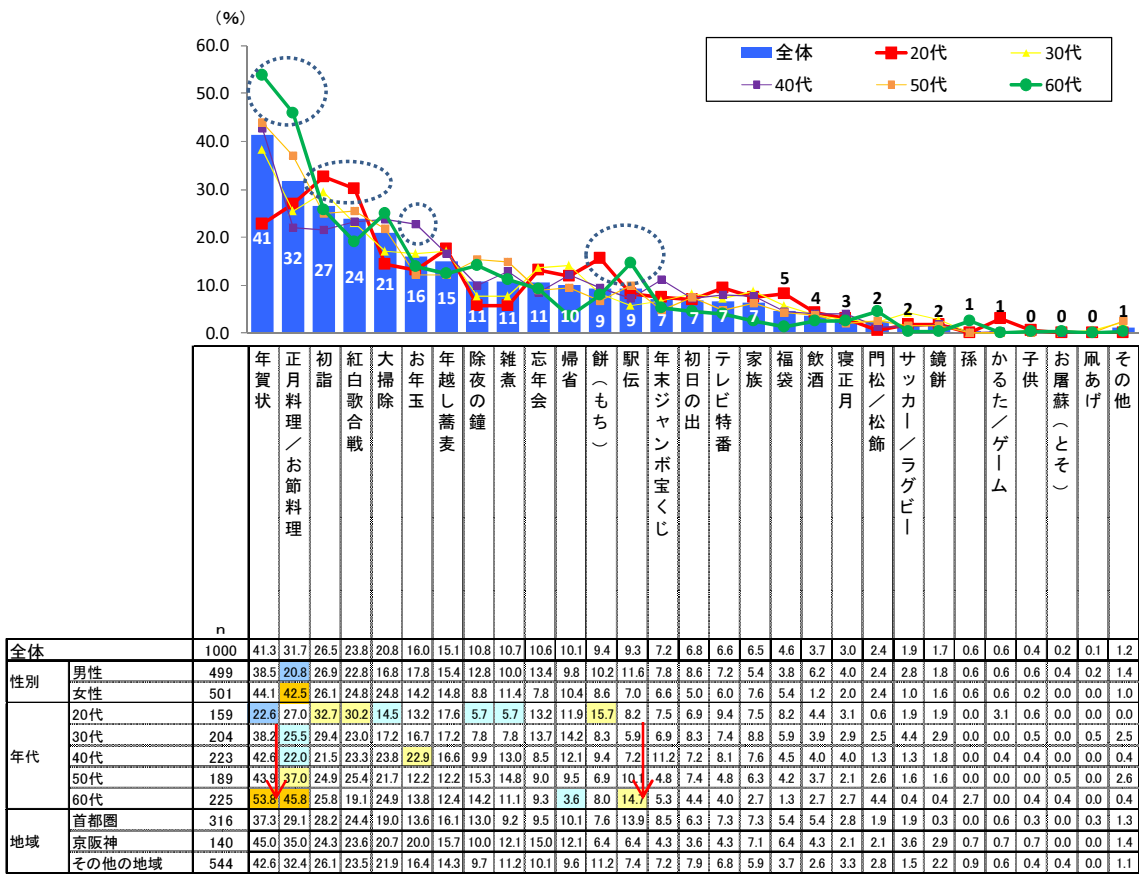
年代別に回答率をみると、「20代」は「実家に帰る」「同僚・友達と忘年会をする」「年賀メールを送る」「福袋を購入する」「初日の出を見に行く」、「30代」は「親戚・家族と集まる」「近くの神社に初詣に行く」「実家に帰る」「年賀メールを送る」、「50代」は「年賀状を送る」、「60代」は「年賀状を送る」「お節料理を食べる」「お節料理を作る」が高い傾向である。

■『年末年始』と聞くと思い浮かぶ物事は、「年賀状」「正月料理／お節料理」「初詣」が上位で、年代別で回答率に差が目立つ

『年末年始』から連想される物事の回答率は、28項目中「全体」で、「年賀状(41%)」が最も高く、次いで「正月料理／お節料理(32%)」「初詣(27%)」が上位3位を占めている。

「20代」での回答率は、「初詣」「紅白歌合戦」が最も高く、「餅(もち)」も他の年代よりも高い傾向であるのに対して、「60代」は「年賀状」「正月料理／お節料理」「駅伝」を思い浮かぶ割合が多い。また、「40代」は「お年玉」、50代は「正月料理／お節料理」の回答率が相対的に高い傾向である。

◇『年末年始』と聞くと思い浮かぶこと (n=1,000、全対象者) 複数選択(3つまで) 単位:%



※「全体」の降順に並び替え

■『お正月』は『大晦日』より、「明」「嬉しい」「フォーマル」の印象が強い

10対義語の回答率を上位5位で見ると、『大晦日』は「特別(67%)」「伝統(55%)」「楽しい(52%)」「明(49%)」「嬉しい(45%)」、『お正月』は「特別(70%)」「明(66%)」「嬉しい(56%)」「楽しい(56%)」「伝統(54%)」で、イメージが類似している。

このように『大晦日』と『お正月』のイメージは似ているが、『お正月』の方が「明」「嬉しい」「フォーマル」と回答される割合が多い。

◇『大晦日』・『お正月』のイメージ (n=1,000、全対象者) 単位:%

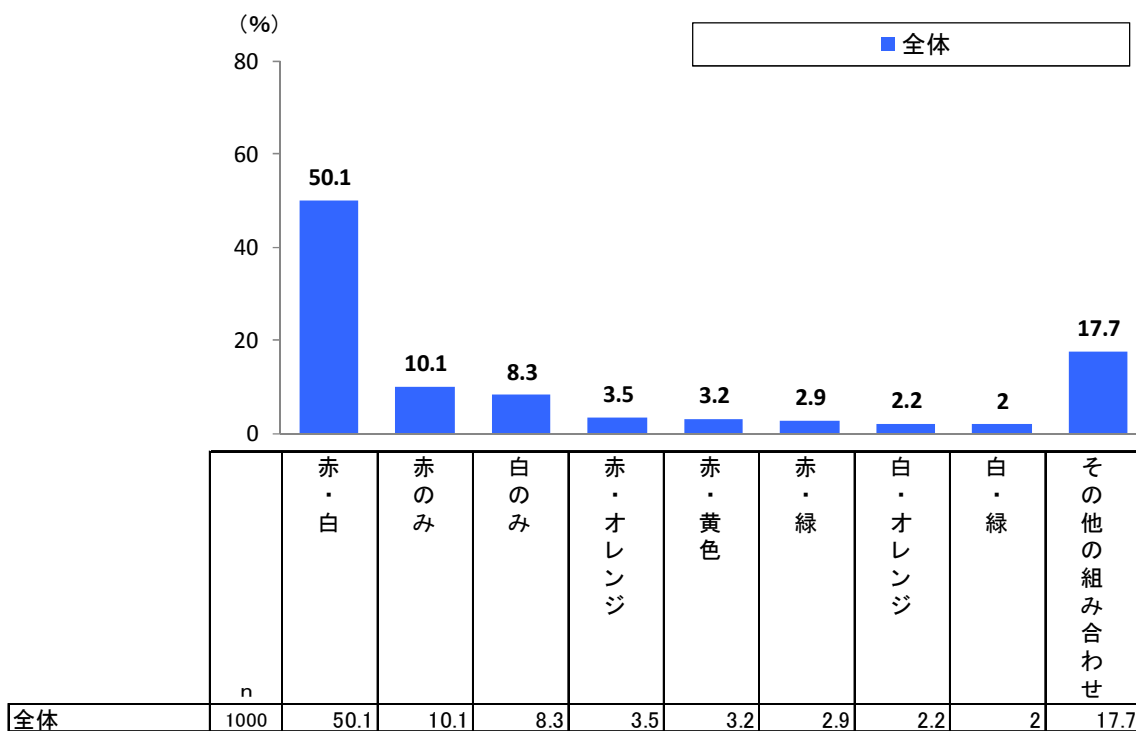
		A			B		
		Aに近い	どちらともいえない	Bに近い			
大晦日	特別	67.2	21.4	11.4	普通		
お正月		70.2	21.9	7.9			
大晦日	楽しい	51.5	38.5	10.0	つまらない		
お正月		55.5	34.6	9.9			
大晦日	明	49.1	37.5	13.4	暗		
お正月		65.9	28.7	5.4			
大晦日	嬉しい	45.1	47.1	7.8	悲しい		
お正月		56.0	38.9	5.1			
大晦日	静	43.4	29.0	27.6	動		
お正月		38.3	35.0	26.7			
大晦日	安心	36.3	56.3	7.4	不安		
お正月		40.8	53.1	6.1			
大晦日	自由	35.7	44.9	19.4	束縛		
お正月		38.4	43.4	18.2			
大晦日	気軽	33.5	48.0	18.5	気重		
お正月		33.6	51.0	15.4			
大晦日	フォーマル	25.0	48.8	26.2	カジュアル		
お正月		40.7	42.5	16.8			
大晦日	現代	12.1	33.3	54.6	伝統		
お正月		13.5	32.9	53.6			

※「大晦日」の「Aに近い」の降順に並び替え

■『お正月』の「色」は、半数が「赤・白(50%)」の組み合わせを選択

8色パレットから『お正月』のイメージを表す「色」は「赤・白(50%)」の2色の同時選択が半数以上の割合で最も多く、次いで「赤のみ(10%)」「白のみ(8%)」で上位3位を占める。「赤」や「白」の組み合わせの色が合計7割を占めている。

◇『お正月』の色 (n=1,000、全対象者) 単位:%



◇『お正月』の「色」として選択した理由を以下に一部ご紹介します。

- 赤・白**
- 日本国旗と同様に初日の出みたいに明るく過ごしたいので (男性、60代)
 - 紅白は喜びごとだから (女性、40代)
- 赤のみ**
- 初日の出 (男性、40代)
 - 町中が赤いものが多いから (女性、40代)
- 白のみ**
- 雪、餅、神聖なもののイメージだから (女性、20代)
 - 一からのスタートだから白紙の状態 (男性、60代)
- 赤・緑**
- 緑は門松のイメージ。赤はおめでたい時に使用することが多いため (女性、40代)
 - 松や竹に雪の白さ (男性、60代)

■「小学生のころ」に、『お正月』を楽しみにしていた割合が約9割と非常に多い

他方、「現在」について、約5割が、『お正月』を楽しみにしていると回答。「現在」では「とても楽しみ」が12%まで減り、「どちらともいえない」の回答者が35%に増えている。

◇『お正月』の楽しみ程度：「現在」と「小学校のころ」で比較 (n=1,000、全対象者) 単位：%

	とても楽しみ	やや楽しみ	どちらともいえない	あまり楽しみではない	まったく楽しみではない
現在	12.2	35.6	35.0	11.1	6.1
小学生のころ	60.6			27.9	8.7
				1.8	1.0

■年代と共に、『お正月』を楽しみにしている程度が低くなっている

「現在」、『お正月』を楽しみにしている程度が年代と共に低くなる傾向が観察される。

「とても楽しみ+やや楽しみ」の合計は「20代」で6割を、「30代」で5割を超えているのに対し、「50代」「60代」では約4割まで下がっている。

◇『お正月』の楽しみ程度：「現在」のみ：年代別 (n=1,000、全対象者) 単位：%

n		とても楽しみ	やや楽しみ	どちらともいえない	あまり楽しみではない	まったく楽しみではない
全体	1000	12.2	35.6	35.0	11.1	6.1
20代	159	19.5	41.5	26.4	6.3	6.3
30代	204	19.6	36.3	32.4	7.8	3.9
40代	223	11.7	31.8	35.9	11.7	9.0
50代	189	6.3	34.9	37.6	12.7	8.5
60代	225	5.8	35.1	40.4	15.6	3.1

◇「現在」『お正月』を楽しみにしている程度が下がっている理由を以下に紹介します。

20代

- 小学生の頃は、実家でおせち料理を食べたり、お年玉をもらったり、祖父母の家へ遊びに行ったりと特別なイベントがあった。しかし現在は、親元を離れて婚約者と暮らしており、年末年始も仕事があるし、おせち料理を作ることもないし、お年玉をもらうこともなく、お正月も普段と大して変わらない。(女性)
- 「小学生のころ」はイベントの感覚だったが、「現在」は挨拶回りなどの仕事の感覚に近いから。(男性)

30代

- お年玉をもらう方からあげる方になったので。(男性)
- 子供の頃はお年玉をもらえたり、美味しいものが食べたりするイメージですが、今では掃除や挨拶ごとなどしなくてはいけないものも増え、楽しいことだけではなくなりました。(女性)

40代

- 町全体が正月という特別な日だったが、現在ではお店も普通に開いていて通常の日々と変わりがない。(男性)
- 年を取るとそんな風を感じるから。(女性)

50代

- お正月の準備があるかないかの違い。(女性)
- 小学生のころ＝1. お年玉 2. 親戚の家でおおぜい集まって遊んだ。今は、親戚との付き合いも疎遠になった。(女性)

60代

- 現在は家の用事もあり、休み明けの仕事のことなど考えると気が重くなるため。(男性)
- 子供の頃は、家に親戚まで集まり大勢で新年を迎えた。晴れ着、お年玉、羽根つきと楽しみが一杯あった。(女性)

※ 数表内の網掛け

- 全体値より10%以上高いもの
 - 全体値より 5%以上高いもの
 - 全体値より 5%以上低いもの
 - 全体値より10%以上低いもの
- 但しN=30未満は除く
(以降のページも同様)

【調査概要】

調査エリア :全国

調査対象者 :20代から60代 男性および女性

回収サンプル数:1,000サンプル(2013年10月1日の「地域別×男女別×年齢別」人口推計値に準じ)

調査期間 :2014年11月10日から12日の間

調査実施機関 :楽天リサーチ株式会社

以 上

【お問い合わせ先】

楽天リサーチ株式会社 マーケティング企画部

Email: pm-rsch-clama@mail.rakuten.com